

<到達目標> 自分の習得状況を定期的にチェックせよ。

- 1 初項  $a$ 、公比  $r$ 、項数  $n$  の等比数列の初項から第  $n$  項までの和の公式を覚えている
- 2 無限等比級数の収束条件と、収束するときの和について説明できる
- 3 循環小数は無限等比級数であることを理解し、分数で表すことができる

<次は有名な「無限等比級数」について考えましょう。これは、 $\{r^n\}$  の極限の復習も兼ねます!>

① 次の無限等比級数の収束・発散を調べ、収束するときは、その和  $S$  を求めよ。

(1)  $3+6+12+24+48+\dots$       (2)  $10+5+\frac{5}{2}+\frac{5}{4}+\frac{5}{8}+\dots$

初項 3、公比 2 より

公比について  $|2| > 1$  なのよ、

発散する。

(3)  $3-\sqrt{3}+1-\frac{1}{\sqrt{3}}+\frac{1}{3}-\dots$

公比が/符号に付くときは  
分母が易いところから考える

初項 3、公比  $-\frac{1}{\sqrt{3}}$  より

公比について  $|\frac{1}{\sqrt{3}}| < 1$  なのよ、

収束して、和  $S = \frac{3}{1-(-\frac{1}{\sqrt{3}})} = \frac{3\sqrt{3}}{\sqrt{3}+1} = \frac{\sqrt{3}(\sqrt{3}-1)}{2}$

(4)  $1+3+9+27+\dots$       (5)  $-8+4-2+\dots$

(6)  $\sqrt{2}+2+2\sqrt{2}+\dots$       (7)  $-3+3-3+3-\dots$

(8)  $(3+\sqrt{2})+(2\sqrt{2}-1)+(5-3\sqrt{2})+\dots$

パッと見ても公比が合分母とまでは割り算する。

公比  $\frac{2\sqrt{2}-1}{3+\sqrt{2}} = \frac{(2\sqrt{2}-1)(3-\sqrt{2})}{7} = \frac{-7+7\sqrt{2}}{7} = -1+\sqrt{2}$

(9)  $-1+\frac{1}{2}-\frac{1}{4}+\frac{1}{8}-\dots$       (10)  $1+0.9+0.81+\dots$

(11)  $27-9+3-\dots$       (12)  $2+2\sqrt{3}+6+\dots$

(13)  $(2-\sqrt{2})+(3\sqrt{2}-4)+(10-7\sqrt{2})+\dots$

< $\Sigma$ 記号で表されても対応できるように。>

② 次の無限級数の和を求めよ。

(1)  $\sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{3})^{n-1}$       (2)  $\sum_{n=1}^{\infty} 3(-\frac{1}{4})^{n-1}$

無限等比級数とは  
言っていない、よって不明

これは初項 1、公比  $\frac{1}{3}$  の無限等比級数なのよ、

公比について  $|\frac{1}{3}| < 1$  より収束して、

和は  $\frac{1}{1-\frac{1}{3}} = \frac{3}{2}$

(3)  $\sum_{n=1}^{\infty} 5 \cdot (\frac{1}{2})^{n+1}$       (4)  $\sum_{n=1}^{\infty} 3(\frac{\sqrt{3}}{2})^{n-1}$

(5)  $\sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{2^n} - \frac{1}{5^n})$       (6)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{3^n - (-1)^n}{4^n}$

$= \sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{2})^n - \sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{5})^n$

$\sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{2})^n$  は初項  $\frac{1}{2}$ 、公比  $\frac{1}{2}$  の無限等比級数で、

$\sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{5})^n$  は初項  $\frac{1}{5}$ 、公比  $\frac{1}{5}$  の "

それぞれ別に  
説明が必要

それぞれ公比について  $|\frac{1}{2}| < 1$ 、 $|\frac{1}{5}| < 1$  なのよ

収束するのよ、和は、

$\frac{\frac{1}{2}}{1-\frac{1}{2}} - \frac{\frac{1}{5}}{1-\frac{1}{5}} = 1 - \frac{1}{4} = \frac{3}{4}$

(7)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{3^n + 2^n}{6^n}$       (8)  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{2^n + (-1)^n}{5^n}$

$= \sum_{n=1}^{\infty} \frac{3^n}{6^n} + \sum_{n=1}^{\infty} \frac{2^n}{6^n}$

$= \sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{2})^n + \sum_{n=1}^{\infty} (\frac{1}{3})^n$

以下同じ。

<「無限等比数列」と「無限等比級数」の収束条件を間違わないように!!>

③ 次の問いに答えよ。

(1)  $1+2x+4x^2+8x^3+\dots$

が収束するような実数  $x$  の値の範囲を求めよ。また、そのときの和  $S$  を求めよ。

初項 1, 公比  $2x$  の無限等比級数なので、

収束条件は、 $|2x| < 1$

$-1 < 2x < 1$

$-\frac{1}{2} < x < \frac{1}{2}$

和は  $\frac{1}{1-2x}$

(2)  $1-\frac{x}{3}+\frac{x^2}{9}-\frac{x^3}{27}+\dots$

が収束するような実数  $x$  の値の範囲を求めよ。また、そのときの和  $S$  を求めよ。

<数Iで学習した「循環小数」は、実は無限等比級数なのです!>

④ 次の循環小数を分数で表せ。

(1)  $0.\dot{3} = 0.3333\dots$

$= 0.3 + 0.03 + 0.003 + 0.0003 + \dots$

初項 0.3, 公比 0.1 の無限等比級数

$0.\dot{3} = \frac{0.3}{1-0.1} = \frac{0.3}{0.9} = \frac{1}{3}$

公比は  $0.1$  として  
 $|0.1| < 1$  所以  
収束して

(2)  $0.\dot{2}\dot{1} = 0.212121\dots$

$= 0.21 + 0.0021 + 0.000021 + \dots$

初項 0.21, 公比 0.01 の無限等比級数

$0.\dot{2}\dot{1} = \frac{0.21}{1-0.01} = \frac{0.21}{0.99} = \frac{7}{33}$

公比は  $0.01$  として  
 $|0.01| < 1$  所以  
収束して

(3)  $1.\dot{3}\dot{6}$

(4)  $3.2\dot{1}\dot{8}$

$= 3.2 + 0.018 + 0.00018 + 0.0000018 + \dots$

$0.018 + 0.00018 + 0.0000018 + \dots$  は、

初項 0.018, 公比 0.01 の無限等比級数。

公比は  $0.01$  として、 $|0.01| < 1$  所以収束して、

$3.2\dot{1}\dot{8} = 3.2 + \frac{0.018}{1-0.01}$

$= 3.2 + \frac{0.018}{0.99}$

$= \frac{32}{10} + \frac{18}{990} = \frac{32}{10} + \frac{2}{110} = \frac{177}{55}$

(5)  $2.\dot{0}2\dot{9} - 1.4\dot{7}\dot{3}$

【解答】

① (1) 発散 (2) 20 (3)  $\frac{9-3\sqrt{3}}{2}$  (4) 発散 (5)  $-\frac{16}{3}$  (6) 発散 (7) 発散

(8)  $\frac{8+5\sqrt{2}}{2}$  (9)  $-\frac{2}{3}$  (10) 10 (11)  $\frac{81}{4}$  (12) 発散 (13) 1

② (1)  $\frac{3}{2}$  (2)  $\frac{12}{5}$  (3)  $\frac{5}{2}$  (4)  $6(2+\sqrt{3})$  (5)  $\frac{3}{4}$  (6)  $\frac{16}{5}$  (7)  $\frac{3}{2}$  (8)  $\frac{1}{2}$

③ (1)  $-\frac{1}{2} < x < -1, S = \frac{1}{1-2x}$  (2)  $-3 < x < 3, S = \frac{3}{3+x}$

④ (1)  $\frac{1}{3}$  (2)  $\frac{7}{33}$  (3)  $\frac{15}{11}$  (4)  $\frac{177}{55}$  (5)  $\frac{5}{9}$